

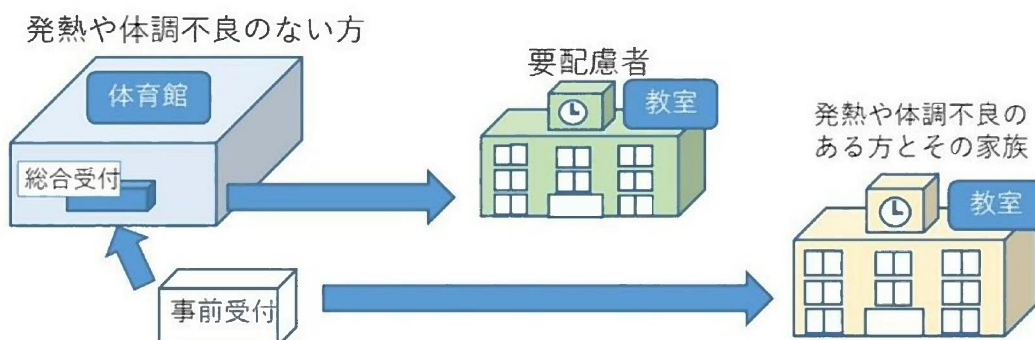
資料

避難所における衛生環境対策
として必要と考えられるもの

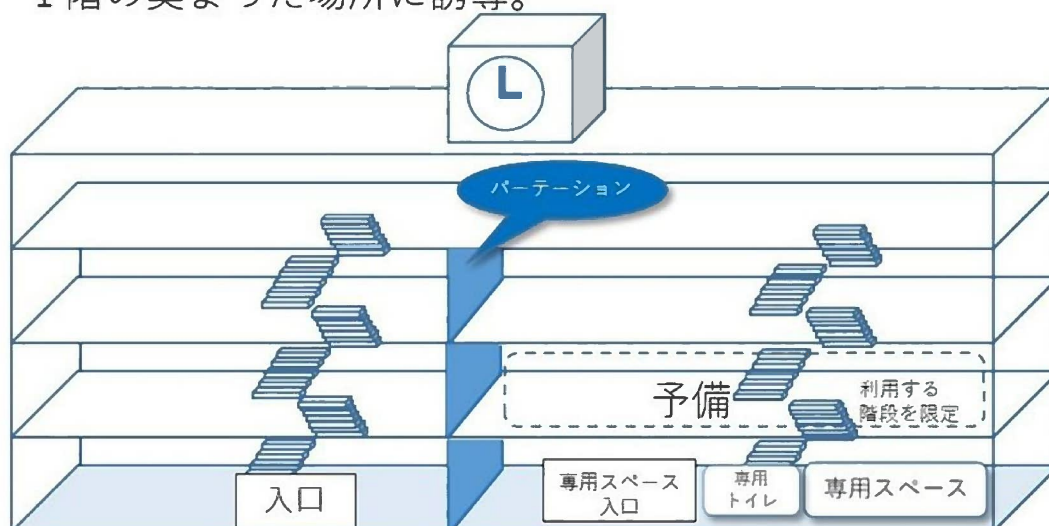
物 資
マスク
アルコール手指消毒液
体温計
非接触型体温計
除菌用アルコールティッシュ
タオル（ただし1回使用ごとに廃棄）
ペーパータオル
新聞紙（吐物処理用）
ハンドソープ
清掃用の家庭用洗剤
次亜塩素酸ナトリウム、亜塩素酸水、次亜塩素酸水等（モノに対する消毒・除菌剤）
フェイスシールド
カップ
使い捨て手袋（ビニール手袋も可）
ラップ
ポリ袋
レジ袋
ジップロック袋
ゴミ袋
バケツ
スプレー容器
蓋つきゴミ箱（足踏み式）
簡易トイレ（凝固剤式）
段ボールベッド（簡易ベッド）
パーティション

学校における専用スペース運用（例）

- ① 発熱や体調不良のある方の専用スペースは、別棟が望ましい。



- ② 別棟にできない場合、発熱や体調不良のある方とその家族は、1階の奥まった場所に誘導。



留意点

- ・ 専用スペースは医療機関へ搬送するまでの一時的な場所
- ・ 発熱や体調不良のある方の専用スペースを設置し、ない方の居住スペース(トイレや洗面所、動線等も含む)と完全分離
- ・ 発熱や体調不良のある方の看護は、限られた方で実施
- ・ 使用済みマスク等の専用スペース内のゴミは、密閉して廃棄

避難所滞在スペースのレイアウト（例）

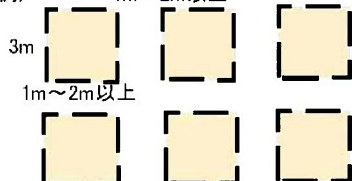
●体育館のような広い空間において、健康な人が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。

感染対策やプライバシー保護の観点からは、パーティションやテントを用いることが望ましい。

●感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する人・障がい者・妊産婦等が滞在这种情况下には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

テープ等による区画表示

(例) 3m 1m~2m以上

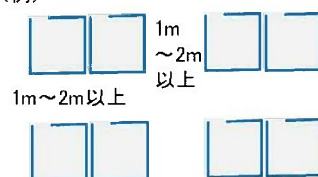


- 一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する
- 家族間の距離を1m以上あける

※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

テントを利用した場合

(例)

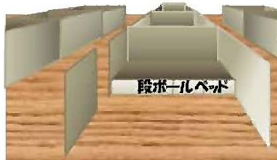
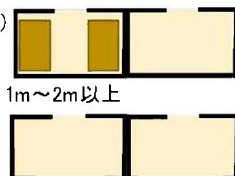


- テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策が必要な際には、取り外す。

パーティションを利用した場合

- 飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

(例)

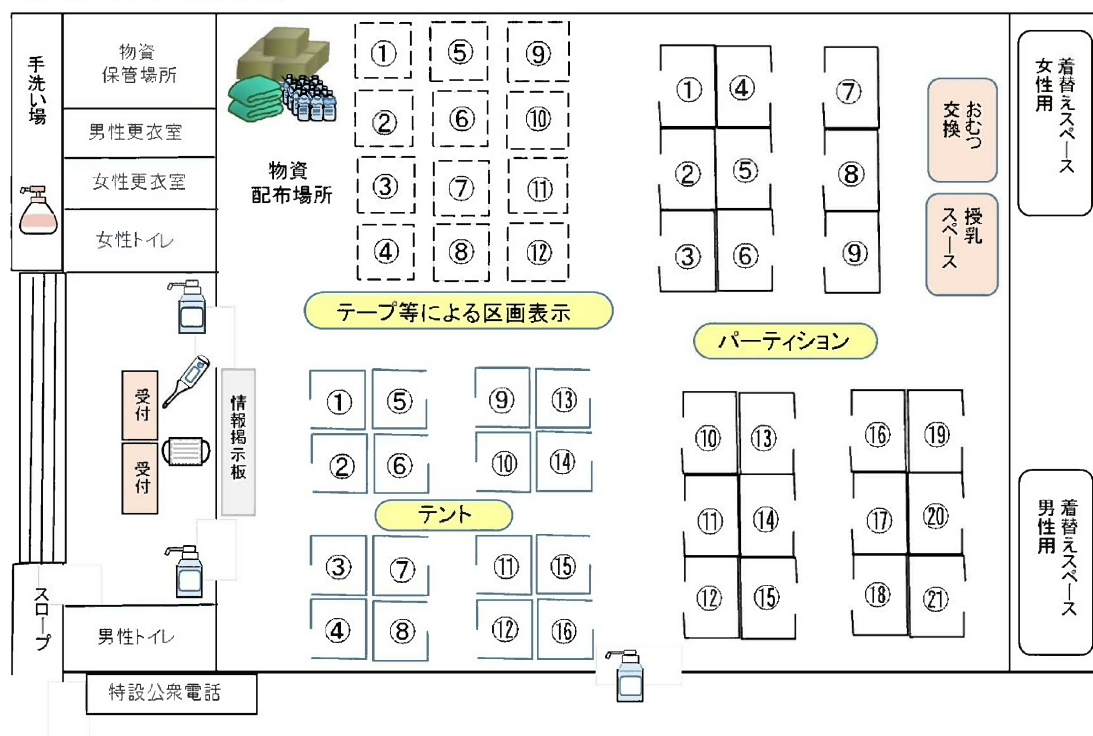


※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。

※ 避難所では、基本的にマスクを着用することが望ましい。特に、人と人の距離が1mとなる区域に入る人はマスクを着用する。

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

●テープ等による区画表示やパーティション、テントを利用する場合は、番号等を付し、誰がどの番号等の区画等に滞在中に分かるように管理する。



避難所運営にあたり場面ごとに想定される装備（参考）

以下を参考として、避難所の状況に応じて判断し、対策を行ってください。

	マスク	眼の防護具 ※ 1	使い捨て手袋 ※ 3	掃除用手袋 ※ 3、4	長袖ガウン ※ 5
避難所受付時の応対	○	△ ※ 2	○		
清掃、消毒	○	○		○	
発熱、咳等の症状のある人や濃厚接触者の専用ゾーンでの応対 ※ 6	○	○	○		
発熱、咳等の症状のある人や濃厚接触者の専用ゾーンの清掃、消毒	○	○		○	
軽症者等ゾーンでの応対 ※ 6	○	○	○		
軽症者等ゾーンの清掃、消毒	○	○		○	○
ゴミ処理	○	○		○	○
リネン、衣服の洗濯 ※ 7	○	○		○	
シャワー・風呂の清掃	○	○		○	○ ※ 8

※ 1 フェイスシールド又はゴーグル。（目を覆うことができる物で代替可（シュノーケリングマスク等））

※ 2 スタッフの個々が担当する内容に応じて使用する。

（例：受付で連続して同じ人が複数の避難者に対応する際は着用する。単発的に、短時間（一人15分以内）で接する際は着用不要。）

※ 3 手袋を外した際には、手洗いを行う。使い捨てビニール手袋も可。

※ 4 手首を覆えるもの。使い捨て手袋・使い捨てビニール手袋も可。（複数人での共用は不可）

※ 5 医療用ではないので、ゴミ袋での手作り、カッパでの代用も可。

※ 6 保健・医療活動は、保健師、看護師、医師が行う。

※ 7 体液等で汚れた衣服、リネンを取り扱う際の装備。

※ 8 撥水性のあるガウンが望ましい。

ガウン・手袋・マスク装着方法



- ① 手袋・マスク・ガウン・手指消毒用アルコール・感染性廃棄物入れ（ビニール袋）



- ② 手指消毒実施
*最後までプッシュし、たっぷりのアルコールで揉みこむ

ガウン・手袋・マスク装着方法



- ③-1 ガウンを着る。



- ③-2 介助者に後ろを留めてもらう。
(首元のマジックテープ)



- ③-3 後ろのひもも同様に結んでもらう。

ガウン・手袋・マスク装着方法



④-1 マスクを装着する。



④-2 マスクを鼻の形に合わせてフィットさせる。

ガウン・手袋・マスク装着方法



⑤-1 手袋を装着する。



⑤-2 ガウンの袖が手袋の下になるようにする。



完了！

ガウン脱衣方法（特に重要）

介助者がいる場合



① 手指消毒をする。



② 介助者に首元のマジックテープをはずしてもらう。

ガウン脱衣方法（特に重要）

介助者がいる場合



③-1 介助者はガウンの外側をつかんで脱がせる。



③-2 介助者は内側（清潔部分）に触れないように注意する。

ガウン脱衣方法（特に重要）

介助者がいない場合



- ②' ガウンの後ろ
（マジックテープ、紐）をはずす。
* 首に触れないようにする。



- ③' ガウンの外側をつかんで
引っ張りながら脱ぐ。

手袋・マスク脱衣方法（特に重要）



① 手袋を脱ぐ。

- * 内側（清潔部分）に触れないように注意する。



② 脱いだ手袋の内側部分でもう片方の手袋を脱ぐ。



③ 感染性廃棄物入れには距離を保って捨てる。



④ マスクを脱ぐ前に手指消毒をする。

手袋・マスク脱衣方法（特に重要）



- ⑤ マスクのゴム部分をもってマスクを外す。
* マスク本体（不潔扱い）には触れないよう注意する。



- ⑥ 手袋と同様に距離を保って捨てる。